

# アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 97/ 2015年2月

\_\_\_\_\_

日本で、インフルエンザが猛威をあげています、ワクチンも必ずしも効きません、まだ伝染っていない方は日ごろの行いがきっと良いのでしょう、元気な皆さんは自信をもって研究に励みましょう、それでは「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第97号をお届けします。

# 【1】VJISAP2015 (2015 Vietnam-Japan International Symposium on Antennas and Propagation) 開催報告

 $1/7\sim9$ の日程で、ベトナム ホーチミン市のPosts & Telecommunications Institute of Technology にて、 $A \cdot P$ 研第二種研究会を開催しました。参加者は日本から $A \cdot P$ とRCS関係者の30名のほか、マレーシアからもマレーシア工科大の山田吉英先生が参加されました。もちろんベトナム側も多くの参加者がございました。7日は4件のチュートリアル講演が行われ、8、9日は7件の招待講演を含む21件の講演が行われました。日中は30度にもなるホーチミンでしたが、バンケットでは涼しい川岸のレストランで(川にはワニがいるという噂で誰も近寄らなかった)、民族音楽を楽しみながらベトナムの研究者との技術交流を深めました。ベトナムLe Quy Don Technical UniversityのDinh先生の協力も得て、成功裏に終わりました。



聴講風景



Dr. Tan Hanhと新井委員長(バンケットにて)



VJISAP2015 Closing Ceremony

# 【2】1月AP研開催の御報告

新年最初のAP研は22,23日に愛媛県松山市の愛媛 大学にTIEEE Shikoku Section, URSI-Fと共催で行われ ました。チュートリアル講演では、現地世話人でもある愛媛 大学 松永真由美先生から「私を魅了したアンテナと電波 伝搬の世界 ~ 電磁界理論解析、テラヘルツ波アンテナ、 構造物周囲の伝搬解析そして簡便構造の多機能アンテナ ~」というまさに魅力的な御講演を頂きました。またアンテナ



愛媛大学 松永真由美先生

の歴史委員会 特別講演では、金沢工業大学の牧野滋先生から「1970~80年代の反射鏡アンテナ研究」というタイトルで、反射鏡アンテナ設計に関するチュートリアル的内容を含む資料的貴重な講演を頂きました。また同時に13件の講演による電波伝搬オーガナイズドセッション(オーガナイザ市坪信一先生(九州工大))が企画され、活発な議論が行われました。



金沢工業大学 牧野 滋先生

#### 【3】3月AP研開催の御案内

2015年3月のAP研は、19、20日に福井大学城北キャンパスにて開催します。福井大学堀俊和先生より、A・P研 / IEEE AP-S Nagoya Chapter 特別講演として、「気儘なアンテナ研究のターゲット ~ 広帯域・円偏波・高利得~」という大変興味深いタイトルの御発表がございます。またチュートリアル講演として、金沢大学八木谷 聡先生より「ジオスペースにおける電磁波計測技術」というタイトルの御発表がございます。皆様是非、ご参加・聴講ください。

### 【4】3月電子情報通信学会総合大会のご案内

次回の総合大会は、3月10日(火)~13日(金)の4日間の会期で、立命館大学にて開催されます。皆様に投稿頂いた約230件の発表でプログラムが構成されています。今回の総合大会では、以下のシンポジウムを企画しております。皆様、ふるってご参加ください。

◆アンテナ・レーダ・センシングシステムを支えるアレー信号処理技術(オーガナイザ: SANE 研:小林弘一(大阪工大),木寺 正平(電通大),AP 研:藤元美俊(福井大学),山田寛喜(新潟大))

### 【5】英文論文誌B小特集のご案内

英文論文誌Bでは, Special Section on Recent Progress in Antennas, Propagation and Wireless Systems Related to Topics in ISAP2014 というタイトルの小特集で論文を募集しています. 投稿締め切りは4/6(厳守)になっております.

詳しくは、次のURLをご覧ください. http://www.ieice.org/eng/s\_issue/cfp/2016\_1EB.pdf

### 【6】副委員長の戯言

VJISAP2015 には、沢山の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。昨年に引き続き2 度目のベトナムでしたが、相変わらず道を埋め尽くすバイク群に圧倒されるとともに、街に活気があり、勢いを感じました。昨年訪問したハノイの街も1 年たった今では大分変っていると Le Quy Don Technical University の Dinh 先生がおっしゃっていました。

既に TV 等でも話題になっていますが、今年は映画 Back to the Future Part II でマイケル・J・フォックスが扮したマーティーが過去から未来へ行った時の未来の年です。様々な未来が描かれていましたが、IT 技術の未来はかなり実現されて身近なものになっていることに驚かされます。大画面薄型テレビにビデオ通話、タブレット端末などですね。さらに眼鏡型端末も既に実現され、指紋照合セキュリティは携帯電話などで使われています。またこのような夢のある想定が、研究開発の良い目標にもなっています。マーティーが未来にやってくるのは 10 月 21 日ですので、あと 8 か月、更にいろいろなものが実現されてくるかもしれません。楽しみです。昨今、研究開発のビジョン策定が叫ばれていますが、自由な発想の映画の中にもヒントが隠されていそうです。気分転換に映画でも見るのも良いですね。

### 〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 長 敬三(千葉工大)

E-mail: ap\_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET: AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP: http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/

ISAP Archives : <a href="http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/">http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/</a>

